

かぜ にお
風の匂い (34分)

企画 兵庫県

正人と知的障害のある歩が主人公です。子どもの頃は共に遊び、共に学ぶ「大切な友だち」でした。しかし、大人になった二人を隔てる健全者と障害者という壁。二人の成長と職場での人間模様を通して、社会的な課題でもある『合理的配慮』についても触れ、見る方々が自分自身の問題として考えることができる作品です。



わっかカフェへようこそ (35分)

～ココロまじわるヨリドコロ～

町の路地にたたずむ小さなカフェ『わっかカフェ』。そこを訪ねるいろいろな人を店の駿と桜が出迎えます。忙しい日常に追われて、誰かと「心を交流する」ことを忘れがちな社会の中で、心の交わりの大切さを考えさせてくれる作品です



じょうほう
みんなの情報モラル (22分)

「家庭のルール」「安全な使い方」「被害に遭う前に」の3つのアニメーションドラマで構成されています。ゲーム機やスマートフォンの使い方に伴うトラブルと解決法について、子ども編と保護者編で分かりやすくまとめられています。



ひかり さ そら
光射す空へ (32分)

この作品ではいくつかの人権課題が取り上げられています。「同和問題」をはじめとして、まだ十分に認識されていない性同一性障害や若年性認知症に対する誤解があります。大学生たちの悩みと学びを通して、「正しい知識の理解」「多様性の受容と尊重」の大切さが描かれています。



きぎょう じんけんけいはつ ひつよう
なぜ企業に人権啓発が必要なのか (34分)

この作品は、人権啓発を考えるためのヒントを、企業を舞台に日常の会社生活の一幕を切り取ったわかりやすいドラマとして構成されています。自分の日々の業務の中で、差別や偏見なく、人権に配慮して行動することをあらためて考えさせてくれます。



防ごう高齢者虐待 (28分)

高齢化の進む現代社会において、親や年老いた夫・妻の介護は、多くの人にとって避けて通れない問題となっています。思い通りにならず、弱い立場の高齢者を心ならずも虐待してしまうことは、誰にでも起こりうるかもしれません。この作品では、働きながら認知症の親の介護をしている2つの事例を、老老介護の話も含めて描かれています。虐待発生を未然に防ぐにはどうすればいいかを考えさせてくれます。

